

松原湖バイブルキャンプ

奉仕者ガイド

アウトキャンプリーダー

2009年 改訂

2019年 改訂



日本同盟基督教団 松原湖バイブルキャンプ

〒384-1103 長野県南佐久郡小海町豊里 4912

TEL▶ 0267-93-2347 FAX▶ 0267-93-2475

E-MAIL▶ info@matsubarako.com HP▶ <http://matsubarako.com>



I. アウトキャンプリーダーの働きについて

松原湖バイブルキャンプディレクター 廣田信之

アウトキャンプは、自然の中で寝食を共にし、自然の実物教育を通して信仰体験をすることができるキャンプです。アウトキャンプのリーダーをするにあたっての準備と、心得についてまとめました。

1. アウトキャンプの構成

- ①プログラムディレクター：プログラム全体、講師のメッセージを把握します。
- ②プログラムスタッフ：プログラムを企画、進行します。うち一人がリーダーです。
- ③食品庫係：食材の用意、下ごしらえ、配分。キャンパーの健康管理をします。
- ④カウンセラー：各テントのキャンパーと共に過ごし、生活と信仰をリードします。

アウトキャンプは上記のスタッフで進められます。スタッフは少人数なので、スタッフの一致がとても大切です。

2. キャンプ前準備

- ① 講師に連絡をし、キャンプの全体像、説教の回数等について知らせます。
中にはアウトキャンプがはじめての講師もおられるので、簡単にキャンプの説明をすると良いでしょう。講師の交通手段についても確認しておきましょう。
- ② キャンプの内容について祈りつつ準備します。
アウトキャンプの基本プログラムは食事、アクティビティー、ゴスペルタイム、登山、フリータイムです。その中で、最も大切なものはゴスペルタイムです。プログラムはゴスペルタイム中心にプログラムを考えます。キャンプ全体を聖書のメッセージとその年のテーマ聖句へ結びつけます。雨の場合のプログラムについても考えておきましょう。
- ③ プログラム作成に並行して、食事の献立をキッチンスタッフと共に考えます。
- ④ 遅くとも6月末までにプログラム、タイムテーブルを作成し、PDに見せます。
- ⑤ 可能な限り、アウトキャンプのオープニング、クロージングにご参加ください。

3. キャンプ当日までの具体的準備

- ① テントメンバー表作成（名簿：キャンプ台帳は、主事から受け取ってください）
- ② キャンプのしおり、名札作成
- ③ カウンセラーキット作成
各カウンセラー、キッチン、オフィス、講師、PDにお渡しするものです。

同封物は以下のとおり。

- プログラム しおり スケジュールノート テント（キャビン）表
- 祈禱課題表 祈禱課題説明書 証し用紙 フォローアップ説明
- アンケート （＊講師には祈禱課題とフォローアップ説明を入れる必要はありません）

④ アウトキャンプ場整備

- 食品庫の整理
- 各テント周り整備（タープが緩みズれると雨水がテント内に侵入するので注意）
- 流し、トイレ掃除
- 火や炭の後始末

（キャンパーが始まる前に、その都度自分たちのキャンプがここで初めて行われるキャンプだと思えるようにしておきましょう）

⑤ 食品及び備品の在庫チェック。食品庫係と共に確認しておきましょう。

4. キャンプ中について

- ① 一日をスタッフと共に祈りで始めて、スタッフの靈性を整えましょう。
- ② 常にキャンパーの靈性、健康状態について把握しましょう。健康状態の悪いキャンパーがいたら無理をしないようにし、必要があればベースキャンプで診てもらいましょう。（飲み薬等は、キャンパーには基本的に与えないことになりました。必要なら、病院での受診を進めます。判断するときは必ずベースのナースに相談してください。）
- ③ キャンプにトラブルはつきものです。何かあったら、すぐに相談しましょう。
- ④ 次に続くキャンプのために、テント、流し、ゴミや炭等を完全に片付けておきましょう。そのために日頃からキャンパーに掃除することを促し、最終日の朝の掃除の時間をしっかりと活用しましょう。

5. キャンプ終了後について

- ① カウンセラー、講師と最後のミーティングを持ち、報告と感謝と祈りの時を持ちましょう。
- ② オフィスに、記録用資料を提出します。以下を専用ファイルに閉じてください。
 - プログラム しおり タイムスケジュール テント表
 - 食事メニュー表 証し用紙

以上

Ⅱ. アウトスタッフの心得

カウンセラーとしての心得

1. キャンパーと生活を共にしながら、健康と安全に配慮をお願いします。例えば、ご飯を食べているか。トイレに行っているか、怪我は無いか、睡眠時間は十分かなど。
2. 近年、子どもたちの生活力、体験の少なさが目立って来ています。「できなくて当たり前」と考えて、危険や怪我などに注意し、丁寧に教えてあげてください。
3. キャンパーの持ち物を確認してください。名前が書いてあるか。どこに何があるか。荷物整理が苦手な子がいたら、いっしょに手伝い、テント内の整理整頓も心がけてください。
4. 神を愛し、キャンパーを愛してください。愛と祈りを忘れずをお願いします。
5. カウンセラー自身の健康・信仰管理も大切にしてください。

※事前準備として、マッチの擦り方、火起こしや、簡単な調理をリードできるように Youtubeなどを参照し、できれば事前に試してみてください。

集会前的心得

1. キャンパーを「トイレに行くように」促してください。集会の途中で退場することのないためです。
2. テントのグループごとに祈って備えてください。
3. 予鈴時（5分前）には集合し、着席しててください。時間がずれ込む原因になってしまいます。

ゴスペルタイムの心得

1. カウンセラーは笑顔で元気良く、精一杯賛美してください。キャンパーはその姿に励まされます。
2. 途中で眠そうなキャンパーがいたら、励ましてください。自分が眠くならないように集中してください。
3. キャンパーの心にメッセージが届くようお祈りください。

テントタイムの心得

1. 講師のメッセージから受けた恵みを分かち合います。
2. テントタイムの始めと終わりに、お祈りしてください。
3. カウンセラー自身が御言葉に 응답して、教えられたことを分かち合ってください。メッセージはしないでください。

4. 先生のメッセージのポイントを押さえつつ、分かち合いを促し、キャンパーが気付いた点、メッセージから教えられたこと、新しい発見、決心したことなど、どんなことでもまずは否定しないで「そうなんだね」と聞いてください。
5. キャンパーの心の訴えや必要を安心して話せる雰囲気をつくりながらカウンセリングしてください。
6. もしカウンセラー自身で対応できないこと、または問題などがあつたらリーダーまで報告ください。講師に相談することもできますので、頑張りすぎないでください。
7. 他のテントへの配慮として、予定時間に終わるように、早く解散したり、長引きすぎたりしないようにお願いします。
8. 早く終わってもテントから出ない、終わっていないテントの邪魔にならないようにしてください。

食事・料理の心得

1. 必ず手を洗ってください。(石鹸で 30 秒手洗い)
2. 基本的には、キャンパーに作ってもらいます。カウンセラーは、危険に注意しながらキャンプの前半では積極的に調理に関わっていただき、徐々にキャンパーに委ねるようにしてください。また、アドバイスや励ましをキャンパーに与えながら導いてください。
3. 包丁は流しのところだけで使用し、かまどの方まで持ち運ばないように注意をお願いします。危険を避けるためです。
4. 火の番をする人、調理する人、希望の役割を交代しながら協力して、皆が楽しめるように指導してください。
5. キャンパーが楽しく食べられるように配慮してください。
6. アレルギーについては、食品庫、PD と情報の共有に注意し、判断に迷うことがあつたらキッチンスタッフに相談してください。

寝る準備の心得

1. テントの中は暗くなると整理しにくくなりますので、明るいうちに寝袋の準備をするようにしてください。懐中電灯を取り出し易いところへ置くよう伝え、どこに何があるかも確認できるようにしておくとい良いでしょう。
2. キャンパーのトイレ、歯磨き、着替え、寝床の準備などを導いてください。
3. 薬を飲むキャンパーがいる場合があります。また、体調を崩してしまうキャンパー、ぜんそく持ちのキャンパーもいるかもしれません。食品庫にはリーダーや食品庫スタッフがいます。また、ベースキャンプ場の看護室にはナースがいますので、カウンセラーは慌てずキャンパーと祈り、安心させて連れて来ててください。

4. キャンパーは興奮してなかなか寝ないこともあります。疲れていますので、早めに寝られるように導いてください。

ディボーションの心得

1. しおりのディボーションガイドに従って進めてください。
2. ディボーションの始めと終わりにお祈りをしてください。
3. 基本的に前日のゴスペルタイムの復習と当日に行われるゴスペルタイムの予習ですので、そのつもりで行うようにしてください。
4. キャンパー一人でディボーションの時間が持てる人は一人でできるように励ましてください。

カウンセラーミーティングの心得

1. この時には、キャンパーの個人的な報告を一つ一つするのではなく、特に覚えて欲しいキャンパーの祈禱課題などを報告してください。
2. プログラムをしっかりと確認するようにしてください。

ハイキングの心得

1. 持ち物の確認をしてください。タオル、雨具、リュック等、足りない物（忘れた物）があれば事前にリーダーまたは食品庫まで連絡してください。
2. 配車の確認。自分のテントのキャンパーがどの車に乗るのか把握してください。

アクティビティーの心得

1. 目的：アクティビティーとは、スポーツやクラフトなどを通して体験的に聖書を学ぶことです。アクティビティーの種類は、「クラフト」「アーチェリー」「ロッククライミング」です。
2. カウンセラーには、人数や手助けの必要等を見て、バランス良く入ってもらうようお願いするので、自分のテントのキャンパーをフォローできるように配慮してください。

カレー（料理）コンテストの心得

カウンセラーは手伝いを一切せず、キャンパーだけで料理を作ります。テントの仲間（あるいは特別グループ）が一致して一つのことを目標に、協力して作り上げることを目的としています。

キャンプファイヤーの心得

1. 賛美と証し的时候了。キャンプで受けた恵を分かち合います。基本的に、キャンパー全員が決心したことなどを書いた原稿を見て、1分程度で話すようお願いしています。カウンセラー、リーダーも証しをしますので備えてください。

2009年改訂：杉江 真・本多 守

2019年改訂：廣田信之（編集協力：吉田篤）



- I. アウトキャンプリーダーの働きについて
- II. アウトスタッフの心得